

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 142 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2023 年 08 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

梅雨明け前から猛暑日の連続

7 月の定例作業日 (7/25) は、

連日猛暑が続き、当日も猛暑が予測されたため、作業中止となりました。中止連絡は 24 日の 16 時過ぎに一斉メールでお知らせしました。それでも、中止連絡以降 25 日朝にかけて、欠席のメールや電話があったりしたので、念のためカルチャーパックに出向いてみました。やはり、「メールを見てなかった」と完全作業体制で見えた方もいらっしゃいました。ご苦勞様でした。せっかく来たので、深澤は日陰を選んで巡回してきました。順路は、東西通り、サッカー場通り、湿地(ほぼカラカラ状態)、霊園通り、桜木神社通り、中央通り、原っぱ・遊具広場を一周です。

コース記号は、イ・K・L・I・F・a'・i・ロ・C・U・C・B・j・L・M・N・K となります。

なお三浦さんからは、次のメッセージが寄せられています。

『酷暑が続き、健康面ばかりでなく活動の安全上の配慮から急遽中止となった。

8 月は現地作業中止なので、再開は 9 月からとなるが元氣な皆さんとの再会を楽しみにしている。』

7 月の第二作業日 (7/11)、

このまま梅雨明け?と思うような、朝からギンギラ太陽が照りつけて、暑い日となりました。

最終参加者は 13 名。林内班 9 名。巡回班 3 名。差し入れ隊 1 名(松郷のマサコサマ〜11 時ころ合流)。

林内班は、第二駐車場東側一帯での作業完結！

巡回班は、当初深澤 1 名で始めたが、「1 人では心もとない」?とのことから、シゲチャンが後から追いかけてきてくれることに…。ということで東西通りからサッカー場通りの分岐点で待っていたところ、何と上新井のチョコさんが見えて合流。湿地入り口でシゲチャンとも合流。湿地は生乾き状態でした。その後桜木神社通りを進み、フォレストを過ぎたあたりから林内に入り、林内作業班と合流。

ナラガレの伐採時に、土中から湧き出たがらくたゴミをまとめ、一部を回収して作業終了。

多彩な差し入れに感謝でした
(*・)_。

コース記号は、イ・K・L・I・F・a'・i・ロ・C・B・W・b'・b・g・N・K となります。



[7/11 当初集合写真]

林内班の三浦さんからの報告です。『前日の最高気温 37 度と同じとの予報を聞いただけで、向かうのが躊躇われた程の暑さだ。半端ない暑さではさぞ参加者が少ないだろうと思いきや、何と 13 人も集まったのには驚いた。

その中には社会貢献の企業から、H 氏他 2 人の青年参加もあった。2022 年 3 月 10 日に初参加してから今日で延べ 76 人目になる快挙だ。これ迄の貢献にはただただ感謝している。

この日の班分けは園内巡回ゴミ収集 3 人、林内班 10 人の構成。開始前の申し合わせは熱中症予防のため各自こまめに水分補給する事、休憩は各自の体調に応じてフレキシブルに対応をする事などを確認した。

林内班はこの日も作業地は桜木神社に近い一帯とした。内容は何時も通りの刈り払い機 4 台とチェンソーを稼働させ下草の刈り払い、太く長い幹を所定の

寸法に切断しそれ以外の人達には林内に散在する枝葉類の運搬をお願いした。

このエリアでの作業日数は一番長きに渡ってきた、いくら片付けても終わりが見えなかったのはその面積の広さ、伐採量の多さに加えて、予想を超える倒木が多かったからだ。

この日は作業の区切りの日
「有終の美」にしたいと皆に伝え奮闘をお願いした。結果予測通り最初の休憩迄にはほぼ目処が付いた。

例えば 2017 年 6 月 27 日に森の手入れを始め、およそ 6 年 1 ヶ月かかってようやく目的地に到達したので、一同感慨も一塩だったと感じて居る。この日は未だしなければならない作業が残っていたのでリヤカーに用具類を積み第二駐車場に近い場所に移動した。懸案だった不法投棄物、特に林床に露出しているガラスやプラスチックなど尖って危険な物を片付けが残っており、園内巡回班と合流し全員で拾い集め一部は回収した。運びきれない大型の不法投棄物件は最寄りの場所にまとめ市の緑町の管理事務所に連絡することに。

暑さのため全員が汗まみれ濡れ鼠状態、顔には疲れも見えたがこの頃、林内に風も吹きようやく一息を付くことが出来、また女性陣からお菓子、果物、冷たいコーヒーや麦茶の差し入れもあり疲れ癒やしてくれたのは言うまでも無い。感謝、感謝お疲れ様。

尚この日企業の H 氏から 8 月の人事異動で他の店舗勤務となるので参加出来なくなると聴きビックリした。H 氏にはいつも先頭に立ち同僚達に采配を振ってくれたりクーラーボックスに冷えたペーパータオルを持参し差し入れてくれたりと、その心遣いもあり気易くお付き合いしてただけにととても残念な気持ちだ。気掛りだった会社の貢献はこの先も続くのかと聞いたところ心配ないとのことでは安堵した。』



[7/11 林内ゴミ]



[7/11 林内作業-1]



[7/11 林内作業-2]



[7/11 終了前集合写真]



[7/11 ゴミ集約]

8月以降の作業予定日-

8月は現場作業を休止します。

8/31(木)に応援隊懇談会及び納涼会を実施します。

10:00~11:45 生涯学習推進センター 101 会議室
12:00~ ちとせ

9/12(火) 9/26(火：定例) 10/12(木) 10/31(火：定例)

11/14(火) 11/28(火：定例) 12/12(火) 12/19(火)

終了後の忘年会については、状況を見て判断します。

2024 年

1/11(木) 1/30(火：定例) 2/13(火) 2/27(火：定例)

3/12(火) 3/26(火：定例)

*3月の中～下旬に応援隊の総会的懇談会を実施します。

コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナウイルスは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。なお、まだパンデミック宣言は終了していません。

ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

感染予防対策、

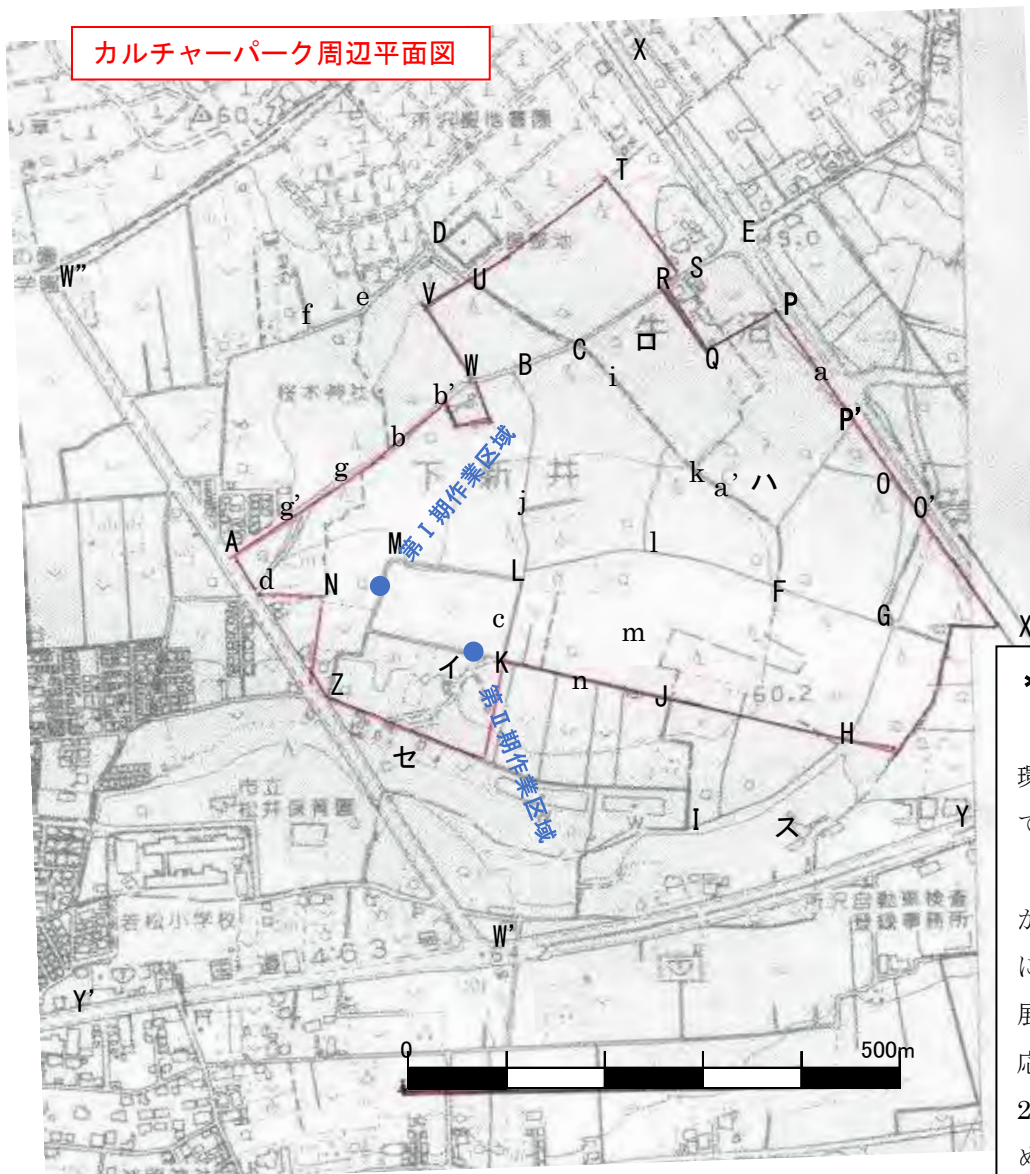
- ・間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・マスク着用：各自の判断とします。
- ・作業間隔の短縮・水分補給。
- ・使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。

なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

新型コロナ発生時の対応策

- ①毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成する。
- ②次の場合その都度、代表へ連絡する。
(発信元は伏せて参加者に知らせる)
イ. 症状があり、検査を受けた時。
ハ. 検査結果と医師・保健所などの指示
- ③陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿 地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。

皆さんからの御意見をお寄せください。

* この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

* お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。